

春 学 期

4月 1日(水)～2日(木)	新入生ガイダンス
4月 13日(月)	春学期授業開始
4月 13日(月)～17日(金)	春学期履修登録
4月 15日(水)	創立記念日(平常授業)
7月 22日(水)	春学期授業終了
7月 27日(木)～31日(金)	春学期末試験
8月 3日(月)	夏期休暇開始
8月 3日(月)～31日(月)	夏期集中講義期間 (学院一斉休暇期間を除く)
8月 6日(木)～7日(金)	春学期末追試験(予定)
9月 19日(土)	夏期休暇終了



秋 学 期

9月 21日(月)	秋学期授業開始
9月 21日(月)～25日(金)	秋学期履修登録
9月 26日(土)	9月卒業証書・学位記授与式
11月 12日(木)	大学祭前日準備(休講)
11月 13日(金)～15日(日)	大学祭(休講)(予定)
11月 16日(月)	大学祭翌日片付け(休講)
11月 27日(月)	聖アンデレ日礼拝(予定)
11月 28日(土)	学院逝去者追悼記念礼拝(予定)
12月 10日(木)	クリスマス礼拝(予定)
12月 22日(火)	冬期休暇前授業終了
12月 23日(水)	冬期休暇開始
1月 6日(水)	冬期休暇終了
1月 7日(木)	冬期休暇明け授業開始
1月 25日(月)	秋学期授業終了
1月 26日(水)～2月 1日(月)	秋学期末試験
2月 8日(月)～9日(火)	秋学期末追試験(予定)
3月 17日(水)	卒業証書・学位記授与式



vol.11
2020
SPRING

かけはし

桃山学院大学教育後援会だより

CONTENTS

- 1 キャリアセンターからのお知らせ
 - 2 就職活動体験記
管理栄養士からの朝食アドバイス
100円朝食
 - 3 学長挨拶 桃山学院大学のディプロマ・ポリシー
聖書の言葉
 - 4 Congratulations!
第19回「留学生振袖の会」開催
第15回ビジネスプランコンテスト
 - 5 体育会サッカー部 プロサッカー選手誕生
優秀団体援助金
2020年度 教育・就職懇談会／支部総会日程
 - 6 第59回桃山祭
第10回ボランティア活動等発表会
- 支部だより
 - 7 大阪南／大阪北
 - 8 京都・滋賀／奈良・三重
 - 9 兵庫／和歌山
 - 10 山口／九州
 - 11 広島／岡山
 - 12 山陰／四国
 - 13 北陸／東海
 - 14 会長挨拶 保護者の皆様と教育後援会
私達と一緒に活動しませんか？
- 裏表紙 2020年度学年暦
CONTENTS
編集後記

編集後記



年明けから新型コロナウイルスの感染拡大のニュースが連日報道される中、「かけはし」VOL.11が皆様のお手元に届くころには終息していることを願いながら、校正作業を進めてまいりました。
管理栄養士さんへのインタビューで、免疫力アップの為の食物は参考にさせていただ

ればと思います。
これからも「かけはし」を通じ、会員の皆様のお役に立てるよう情報発信してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。
発行にあたりご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。
(教育後援会 広報 原井 尚子)

表紙写真：本部写真部 / 表紙題字：教育後援会 元副会長 佐藤 静子

桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>

特 集

- ◆管理栄養士からの朝食アドバイス 2
- ◆キャリアセンターからのお知らせ 1



キャリアセンターからのお知らせ

2020年3月卒業の大学生就職内定率は、文部科学・厚生労働両省の3月18日の発表によると前年同期比0.4ポイント上昇の92.3%と過去最高を更新し、学生にとって有利な「売り手市場」となりました。本学の内定率につきましても、過去最高の水準になる見込みです。この結果は「売り手市場」であったことだけではなく、就職活動に取り組む学生が頑張った結果だと思われます。また、本学では高い内定率だけではなく、大手メーカーや商社など、人気企業や優良企業から内定を獲得しており、しっかりと準備をして就職活動に臨んだ学生は就職先においても結果を出しています。一方で、多くの企業で内定式が行われる10月以降も就職活動を続けている学生も少なからずいており、就職活動が上手くいく学生と苦勞する学生の二極化が進んでいます。

2021年3月卒業予定者の就職活動環境においても「売り手市場」が続くと思われていましたが、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、その状況は一変しつつあります。3月以降、各ナビサイト(マイナビ等)や一部の企業で就職イベントや企業説明会の延期・中止の対応がなされています。また、学生との濃厚接触を避けるためにwebを活用しての説明会や選考を実施される企業も増えつつあります。近年、AIの活用や採用に直結したインターンシップの実施など、企業の選考方法の多様化が進んでいますが、このタイミングで加速度的にその多様化が進む可能性もあります。また、学生の就職活動だけでなく日本や世界各国の経済にも大きな影響を与えており、今後の情勢は不透明なものになっておりますが、どのような状況下にあっても就職活動を成功させるために重要なことは、充実した大学生活を過ごすことに変わりはありません。

就職活動の環境が厳しくなり、企業の選考方法が多様化しても、書類選考や面接で重要視されるのは大学生活で経験したことや学んだことです。本学の履歴書においても、学生に「研究課題または興味ある科目」「学生生活で力を注いだこと」「自己

PR]を書いてもらっています。就職活動を本格的に始める時期に、これらについて書いて話すことができない学生は、就職活動で苦戦を強いられてしまいます。逆に、大学生活で何か一つでも自信を持って取り組んだものがある学生は、就職活動を上手く進められる傾向にあります。勉強、ゼミ活動、クラブ・サークル活動、アルバイト、ボランティア、海外留学、資格取得など、どんなことでも良いので大学生活で夢中になれるものを見つけて欲しいと思います。また、見つかった際には、それに全力で取り組めるように保護者の皆様にはサポートして頂ければと思います。そしてキャリアセンターでは、その経験を就職活動で活かせるように全力でサポートを行います。

とはいえ、「夢中になれる目標なんて簡単に見つからない」「大学生活で何をすればいいかわからない」など、不安を感じる方もいらっしゃるかと思います。そのためにキャリアセンターでは、1年次生からの「キャリア教育」に力を入れており、正課授業として「キャリア教育科目」を用意しております。「キャリア教育科目」は、卒業後も自分らしく生きていくために必要な知識と、社会人として必要とされる能力を身につけてもらうためのカリキュラムになっています。具体的には、グループワークやプレゼンテーションを通じて、自分自身や社会を知ることで、なりたい自分に近づくための「大学生活の過ごし方」「生き方」「働き方」を考えるきっかけづくりを行う授業です。このようなキャリア教育科目を受講することで、充実した大学生活を過ごすだけでなく、就職活動の準備につながり、卒業後も社会人として活躍するための力を身につけることができます。

ここで書かせていただいたのは、就職活動の環境やキャリア教育の一部です。これらの具体的な内容や就職活動の準備については、「教育・就職懇談会」にてお伝えさせていただければと思います。



キャリアセンター
関連情報

就職活動体験記

いとう ゆか 伊藤 有加
国際教養学部
英語・国際文化学科(4年生)

就職活動期間中に心がけていたことは、キャリアセンターをフル活用することです。私が100社以上にエントリーをすることや、約70社の説明会に参加し視野を広げられたこと、また、覚悟を決められる内定先を選ぶことができたのも、キャリアセンターの方が協力してくださったからと言っても過言ではありません。就活サイトに掲載されている企業からそうでない企業についても、キャリアセンターの皆さんと毎日のように直接お会いし、情報交換をしていました。私はその過程で、「モノづくり」というキーワードに強く惹かれ、自身の希望する就職先として具体的にイメージすることができました。そして採用試験や面接期間中にも、キャリアセンターに電話をするなどして、試験や面接の振り返りができたこともあり、一人では停滞してしまうようなことも、スムーズに行動に移すことができました。

また家族からは、何気ないひとことや、見守ってくれている姿勢がサポートになることもありました。普段はあまり話をしない父から「就活はどうなん?」と一度だけ聞かれたことがありました

が、今思い返すと、とても気にしてきてくれたのだと思います。普段と接し方が変わらないけれども気にしてくれている、過度な口出しをせず任せてくれる、話を聞いてくれる、そんな親の姿勢に元気をもらい、就職活動を頑張ることができました。

最後に、これから就職活動を始めるみなさんに伝えたいことは、「この就職先で後悔はない」と思える就職活動にしたいということです。活動中は上手いかず、辛くなることもあるかと思いますが、そんな時は、少し休憩をしてみるのもいいのかもしれない。「内定」だけにとらわれて、「早く就活を終わらせよう」とすると、内定をいただいた後の在学期間中に不安になると思います。「本当にこの就職先でいいのかな」ではなく、就職活動と、これまでの人生を基にした自身の性格・性質や、周りの人からの意見も聞いてみて、「この就職先ならどんなことがあっても頑張る覚悟がある」と思える就職活動にしていけたらと願っています。



管理栄養士からの朝食アドバイス

管理栄養士の藤巻琴香さんにお聞きました。

朝食をとる効果、不規則な生活をして、朝食を抜く悪影響について

朝食を食べなかったり、コンビニで買ったお弁当等を食えることが多かったり、食生活が乱れていませんか? 朝食には以下のようなメリットがあります。特に朝食は、元気に1日を過ごすためには大切です。

- 脳の働きを活性化して、集中力や記憶力が高まる
- 体温が上昇し代謝が高まる
- 体内リズム時計を整える
- 太りにくい体を作る
- 便秘解消
- 疲労感が少なくなる

マーガレット館の「100円朝食」は、皆さんがバランスの良い朝食が食べられるように、野菜たっぷりの献立を考えています。人気メニューはすぐに完売するので、少し早起きしてお越しください。元気な1日が過ごせるはずですよ。

喜月 通代さん(株式会社 南テスティバル 聖マーガレット館 食堂 店長) / 藤巻 琴香さん(株式会社 南テスティバル 管理栄養士)

免疫力アップ、健康に過ごすために、摂取したいのは?

- タンパク質(肉、魚、大豆等)
- 食物繊維(海藻、キノコ類)
- 発酵食品(味噌、納豆、ヨーグルト、チーズ等)
- 緑黄色野菜

バランスよく
摂取することも
大切です。

食品添加物の影響(コンビニ弁当等)

コンビニ弁当を買う時には、野菜サラダや野菜ジュースをプラスすることがおすすめです。

朝食をとる習慣のない人は、まず朝食を食べることからはじめましょう!(手軽に食べられるバナナやおにぎり、野菜ジュースでもOKです。)そこから徐々にバランスのよい食事内容に近づけましょう。



朝ごはんを食べよう!
100円朝食キャンペーン
教育後援会が
支援しています。

教育後援会では、学生の食生活を少しでも手助けできるようにと、1食200円の支援をして聖マーガレット館2Fの食堂で、8:30~9:30 1日50食限定で「100円朝食」を提供しています。人気メニューは状況に合わせて増やしていただくことになりました。メニューは日替わりです。

朝食は、身体への栄養補給だけでなく、脳への栄養補給、生活習慣病予防のためにも重要です。「100円朝食」では、バランスの良い朝食が食べられるように、野菜たっぷりの献立を考えていただいています。

クリームシチュー
肉団子のとろ〜中華スープ



桃山学院大学
学長 牧野 丹奈子

近年のAIをはじめとする技術革新には目覚ましいものがあります。単純作業の自動化は当たり前です。そして、それだけではありません。高度な専門知識を必要とする仕事であっても、それに答えがあるものならばAIが行うようになるでしょう。では私たち人間がすべき仕事は何か。それは新しいアイデアを生み出す、新しい答えをつくるクリエイティブな仕事ということになります。あらゆる現場で求められるようになるでしょう。つまり、これからの社会で活躍できるのは言われたことをきちんとやる人というよりも、新しい価値を生み出せる人ということです。では、新しい価値を生み出すためにはどのような力が必要でしょうか。

色々ありますが、桃山学院大学では次の3つの力が重要と考えます。

第一は創造力です。何も無いところから新しいものを創り出す力のことです。確かにAIも何かを生み出すことができるのですが、今のAIのほとんどは過去のデータに

基づき学習し、新しいものを創り出しています。ところが人間は違います。人は過去のデータに頼ることなく、自分の意志をよりどころとして新しいものを生み出すことができます。ゼロの状態から1を生み出すことが出来るのです。

第二は共感力、すなわちコミュニケーションによって人と共感をつくる力です。たとえば何かを社会で実現するためには、人の賛同を得たり、説得したりしなければなりません。またそのための根回しやネットワークづくりが必要になるかもしれません。これらはAIには無理です。

第三は実践力です。どんなに素晴らしいアイデアを考えたとしても実践しなければ何の意味もありません。困難を乗り越えてでも最後までやり抜くためには強い意志と当事者意識が必要ですが、いずれもAIには持てないものです。

桃山学院大学では、学力に加えて、以上の「創造力」、「共感力」、「実践力」をディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）と定め、教育を実施しています。

一人一人の学生が社会で新しい価値を生み出せる人になれるような教育に、教職員一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

聖書の言葉

「箴言より」

旧約聖書に「箴言」という文書があります。古代ユダヤ民族に受け継がれてきたことわざ集、教訓集です。日常生活における様々な知恵が語られており、知恵者として知られるダビデ王の子ソロモン王の言葉だといわれています。

ソロモンが、知恵ある者となったいきさつは、列王記上3章に書かれています。彼はギブオンで神に1千頭のいけにえをささげました。するとその夜、主なる神が彼の夢の中に現れ、「なんでもお前の願い事をかなえてあげよう」と言われます。ソロモンは「ダビデ王に代わって自分が王になったものの、まだ若者で、どのように振舞えばよいかかわからないので、わたしに「聞き分ける心」を与え、民を治め、善悪をわきまえる者にしてください」と願います。この願いが、神に喜ばれたのは言うまでもない。「あなたは自分のため、長寿や、富、敵の命も求めることができたのにそうしなかった。だからあなたに知恵を与え、また、あなたが願わなかった富も榮譽も長寿も与えよう」と。こうしてソロモンには素晴らしい知恵が与えられそれを人々に語ったといわれます。

「主(神)を畏れることは知識の初め、無知な者は知恵も論しも侮る。」

「ねじ曲がった言葉をあなたの口から退け、ゆがんだ言葉を唇から遠ざけよ。」

「目は正面を見据え、まなざしを前にまっすぐ向けよ。」

「怠け者よ、いつまで横になっているのか。いつ、眠りから起き上がるのか。しばらく眠り、しばらくまどろみ、しばらく腕を組み、また、横になる。」

「盗んだ水は甘く、隠れて食べるパンはうまい。」

「悟りを得た子は夏のうちに集め、恥をもたらす子は刈り入れ時に居眠りする。」

「柔らかな受け答えは憤りを鎮め、傷つける言葉は怒りをあおる。」(聖書協会共同訳より)

日常生活、信仰体験を通して得られた生きる知恵が、淡々と語られています。



チャプレン
宮嶋 眞

Congratulations!

3月17日(火)に2019年度卒業証書・学位記授与式が大学チャペルで執り行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小・時間短縮の形で執り行われ、また式典の様子はインターネットでライブ配信されました。

また、4月2日に予定していた体育館メインアリーナでの入学式を中止し、新入生ガイダンスが実施されました。

卒業生、新入生も皆さん、夢に向かって新たなステージでがんばってください。



卒業証書・学位記授与式



新入生ガイダンス

2020年1月11日(土)

第19回「留学生振袖の会」開催

本部 藤原 昌子

日本の伝統文化を留学生に着物の体験を通して感じてもらい、国際交流をしようと始められた「留学生振袖の会」が1月11日に開催されました。

地域のボランティアの皆様、教育後援会近畿各支部の皆様のご協力で10か国13名の留学生が着付け・ヘアメイクをしていただき、女子はあでやかな振袖姿、男子はアンサンブル姿・袴姿に変身いたしました。この着物は、全て保護者の方々からの寄贈によるもので大切に使用させていただいております。友沢副学長、宮嶋チャプレンにもご参加いただきました。茶道部からも着物姿でお茶のお点前をいただきました。総勢100名の皆様とともに本学の建学の精神である「世界の市民」を実感した一日となりました。

お世話になったボランティアの皆様により御礼申し上げます。ありがとうございました。



「留学生振袖の会」に参加して

奈良・三重支部 山本 五十鈴

留学生振袖の会も2020年で19回目を迎えました。宮嶋チャプレンの透き通るようなバイオリンの音色の演奏から始まり、懇親会の場も設けられ、最後には留学生から「日本の振袖を着ることができてとても嬉しかったです。」とひとり一人が感謝の気持ちを伝えてくれました。自分の意見をはっきりと言える学生に成長されていることを誇りに思います。

今年は日本文化と心を体感したいと希望された留学生が多くいらしたと聞いておりますが、国際交流事業を支援することでより交流が深まったと思います。これまで留学生振袖の会にご協力くださいましたボランティアの皆様方のご尽力のおかげだと、感謝いたします。私も今年で教育後援会の役員も4年目となり、最後に振袖の会に参加できたことを本当に嬉しく思います。

2019年12月8日(日)

第15回

ビジネスプランコンテスト

和歌山支部 呼取 有紀子

本学聖ヨハネホールにて開催されました。一次審査を経て選ばれた10組(個人・グループ)の学生がコンテストに出場しました。10分間のプレゼンテーションの後、質疑応答がありました。どれも着眼点が良く情報収集など細かくされていました。特に4年生の山本大河さんのテーマ・プレゼンテーションは抜き出ていました。私自身は今年度新設された経営学部ビジネスデザイン学科1年生グループのプレゼンテーションが聞きやすく、内容も良かったことは、普段からの講義の成果だと思いました。アイデアの面白さ・アイデアの具体性・プレゼンテーション能力の三つの項目が審査ポイントです。審査員の方々から厳しい質問や意見をいただきながらも柔軟な対応に感心させられました。



ビジネスプランコンテスト結果

- 【学 長 賞】** 「ももなび ~桃山学院大学のサークル・部活情報サイト~」
山本 大河(社会学部社会学科 4年生)
- 【同窓会会長賞】** 「しごと体感VR ~5分間の職場旅行へ~」
上野 翼(経営学部経営学科 3年生)
- 【教育後援会会長賞】** 「課題解決で就職できる時代へ」
小野 龍太郎(経営学部ビジネスデザイン学科 1年生)
荒毛 瑞樹(経営学部ビジネスデザイン学科 1年生)
物井 将馬(経営学部ビジネスデザイン学科 1年生)
- 【審査員特別賞】** 「Learn English in Bus」
片山 優花(国際教養学部英語・国際文化学科 3年生)
- 「AIを活用した食品ロス削減策 ~コンビニ業界を中心に~」
山極 友貴(経営学部経営学科 3年生)
岩永 隼(経営学部経営学科 3年生)
今福 湧貴(経営学部経営学科 3年生)
道津 佑哉(経営学部経営学科 3年生)
大出 航平(経営学部経営学科 3年生)
林 翔吾(経営学部経営学科 3年生)



桃山学院大学 体育会サッカー部

プロサッカー選手誕生

まい くま せい や
毎熊 晟矢 経済学部 経済学科 (4年生)

桃山学院大学には、大学のサッカー部からお話をいただき、スポーツ推薦で入学しました。桃大のサッカー部は、関西の1部リーグに所属していて、この大学に入れば、技術的にも精神的にも成長できると思いき、入学を決意しました。

サッカーは、5歳の頃から近所のサッカースクールに通って練習をしていました。幼稚園に入園した頃、プロサッカーチームの試合をはじめ観に行き、広いグラウンドで華麗にプレーする

選手たちを目の当たりにし、将来は自分もこんな場所で試合ができるサッカー選手になりたいと思うようになりました。

大学のサッカー部では、たくさんの仲間恵まれ、練習や試合で苦しい時にも共に乗り越え、成長することができました。そして、サッカー部での活動を通じて、礼儀や仲間の大切さなど、たくさん学べました。

大学4年間で充実した時間を過ごすことができたのは、仲間はもちろんですが、大学や教育後援会、大学同窓会等からのご支援もあり、日々の活動が充実していたのだと思います。ありがとうございました。

春からはプロサッカー選手としてV・ファーレン長崎に加入することになりました。厳しい世界で生きていくこととなりますが、謙虚さを忘れずに全力でプレーし、日本を代表するような選手になれるよう、日々努力を続けていきたいと思っています。

優秀団体援助金

教育後援会は「大学の教育の発展と充実のための後援」を目的としています。その中でも学生に対する援助には6割以上の予算を組んでいます。3月に「課外活動援助金」の贈呈を行いましたのでご報告いたします。

課外活動援助金(優秀団体援助金)

特に優秀な成績を取った団体に対し、奨励金として課外活動に対して援助しています。

2019年度は、水泳部、ハンドボール部、空手道部、日本拳法部、に合計100万円を贈呈いたしました。

2020年度 教育・就職懇談会／支部総会日程

「教育・就職懇談会／支部総会」は、例年、7月までに全国各地の支部において開催しております。

しかし、報道等でご存知のとおり、新型コロナウイルス発生により、多数の国に感染が拡大し、既に国内においても同ウイルスに関連した感染症の症例が多数報告されています。

このような状況であるため、2020年度の本懇談会／支部総会は、今夏以降に予定させていただくこととなりました。

詳細の日程につきましては、別途、ご案内を申し上げます。



2019年度に開催された教育・就職懇談会の様子を、以下のサイトに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。
<https://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkaiweb/kondankai2020.html>



第59回

桃山祭

momoyama-sai

無料休憩所

大阪北支部 兼森 さつき

おだやかな小春日和の中、桃山祭最終日、毎年恒例となりました大阪南北支部合同での「無料休憩所」をチャペル前にて開催いたしました。当日は天候に恵まれ桃山祭を訪れた、たくさんの皆様に温かいお茶とお菓子でおもてなしができました。休憩所設営にあたり準備いただきました大学関係者の皆様にお礼と感謝を申し上げますとともに来年もたくさんの方々が無料休憩所にお立ち寄りいただけるよう役員一同心より願っております。



モーリー・ロバートソン氏講演会

「オモテナシからオトモダチへ ～日本とアメリカで通用するがんばり術～」

兵庫支部 野口 美鈴

モーリー・ロバートソン氏は、アメリカ人の父と日本人の母を持ち、日米の双方で教育を受けて文化に親しんで来られました。その多様な視点で、「戦後に作り上げた経済やアメリカの産みの苦しみ」「日本の生き残り」「インバウンドが当たり前になっている今」「日本の強みって何?」など、次々とテンポよく繰り広げられるお話に引き込まれました。

「マグロの解体ショーで、日本人は手先が器用なんだね。刀のような包丁で手際よくさばいて、このマグロがまた美味い!アメリカ人だったら機械でギューンギューンって輪切りだね。」と笑いをとりつつ、人が真似できない技術やユニークなスキルを持っている人が大事にされるということ、SMAPの「世界に一つだけの花」を歌いながら、具体的な例をあげて話されました。

- ・自分のやりたいこと、既にやっていることを好きになろう
- ・自分から柔軟な想像力が発揮できる人になろう
- ・あるがままを肯定する、あるがままを受け入れる

自分にしかできないことを見つける大切さを講演していただいたと思います。

＜キャンパス見学＞

大阪南支部 相馬 基文

爽やかな秋晴れの中での桃大祭。初めてのキャンパス見学はまるで新入生の気分です。ただただ驚きの連続で、TVドラマの撮影依頼もあるという模擬裁判教室に、膨大な蔵書の図書館。スポーツクラブさながらのトレーニングルームと温水プール。キャリアセンターでの就職支援制度など、これらを活用しない手はないです。学生たちがこの施設や制度を、スマホのアプリを使うように存分に活用してもらえたら素晴らしいものになるだろうと感じました。「この恵まれた環境に感謝するのは20年後でもいい。今は存分に活用して欲しい」と思います。



Volunteer Activity

第10回 ボランティア活動等発表会

京都・滋賀支部 森岡 真貴子

大学祭で本学チャペルにて開催された下記4団体の発表の一部をご紹介します。

- ボランティア活動支援室**
 - ・みどりのつどい(5月)・・・子どもと接する
 - ・ゴミ拾い・・・総重量43.2Kg
 - ・大阪マラソンボランティア・・・ランナーとの一体感
- 国際ボランティアプログラム「インドネシアCOP」**
 - ・活動地：ノンバット(通称：子どもにやさしい村)
 - ・どこにでもゴミのポイ捨て習慣
→ 村の人と協力しゴミ拾い・ゴミ箱の設置
 - ・虫菌が多い → 子どもたちに手洗い・菌磨きを教える
- 国際ワークキャンプ(インドネシア)**
 - ・プリンピンサリ村小学校を訪問、交流会(折り紙や二人羽織・フルーツバスケットなどのゲームを交える)
 - ・農作業や施設周りの外壁作り
 - ・子どもたちと施設や近隣のゴミ拾い
- インド異文化・ボランティア体験セミナー**
 - ・上智大学と合同・四都市を巡る
 - ・ハンセン病患者施設の視察
 - ・日本語を学ぶ学生と交流

壇上に立った学生たちはどの顔もすがすがしく落ち着いてしっかり報告がなされ、次のような感想が述べられました。

- ・伝えたいことを言葉にできないもどかしさを感じたが目線・声掛け・ジェスチャーなどで交流ができると気付く
- ・積極的に近づく子どもが苦手だったが、帰る頃は嫌でなくなった。インドネシアの子どもも日本と変わらないと思った
- ・共に支え合う重要性を感じた
- ・互いの違いを認め受け入れたい気持ちを持ち感謝する大切さを知る
- ・色々な国の人と活動する中で言葉にできることだけが学びではないと思った
- ・村人は心を開き受け入れようとしてくれているのに自分は心を閉ざしている事に気がついた

学部の垣根を越え国内外でのボランティア活動は本学の大きな特色です。発表終了後、引率をしてくださった方と言葉を交わすと学生を想う温かさが伝わってきました。さまざまな状況の中で挑戦し成し遂げた学生たちに沢山の拍手を贈りたいと思います。そして、共に学ばせていただいている学生の保護者としてお世話になったホストファミリーやサポートしてくださった大学関係などの皆様に深くお礼を申し上げます。



大阪南支部

支部長 中西 啓之



就職講演会

2020年2月1日(土) 中西 啓之

近年、参加者皆様から高いご評価をいただく大阪南支部主催の「就職講演会」。今年は京都滋賀支部と四国支部ともコラボして『就活新時代! 就活スケジュールとその内容』直近! 男女就活成功者の生の声』というタイトルで、本学ハイビジョンシアターにて開催させていただきました。

昨年、経団連の中西会長から就職・採用活動のルール廃止の発表があり、1953年に始まった就職協定以来、約70年続いてきた就職・採用活動の目安が無くなり2022年卒からは「一括採用」と「通年採用」の複線化が進む見込みとの報道もあり、そんな中で今後「就活新時代」を迎えるに当たり、直近で就活成功者の方々に成功体験を語っていただく機会を得、また大学側からも貴重な情報をお伝えいただきました。

本企画は大阪南/京都滋賀/四国の3支部と教育後援会本部、本学キャリアセンターと三位一体となり、特に教育後援会室、本学キャリアセンターには多大なお力添えをいただき、講演者の選定と講演のご承諾までご協力を賜り、3支部共同の広報活動とも相まった結果、昨年より更に多い135名様ものご来場をいただき、四国からは遠方にも関わらず5名様のご参加をいただくに至りました。

講演では本学キャリアセンター中井達就氏から「現在の

就職環境について」という内容で業種や企業規模によって求人倍率が異なること、2022年3月卒までは政府要請で現行スケジュールとする方針が固まったこと、などの直近の情報をお伝えいただきました。また、就職活動体験談として国際教養学部英語・国際文化学科4年生 伊藤有加さんと社会学部社会学科4年生 北野裕明さんからは、男女それぞれの立場から就活成功に至る「生の声」をお話してくださいました。参加者からは「とても参考になった。有意義だった」「とても良かった、来年も参加したい」「学生の生の声は、わかりやすかった」「キャリアセンターの重要性を改めて知った」といった評価やお声を数多くいただきました。その反面「説明の資料が欲しかった」というご意見も多数いただき、高いご評価内容ただけに資料配布の重要性も痛感しました。

この度の私たちのプランニングに対し、ご準備いただきました関係者の方々に対して、この場をお借りして御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



京都・滋賀支部

支部長 森岡 真貴子



ご挨拶

森岡 真貴子

京都・滋賀支部は、在籍者数66名で学生の大半は本学近郊にて下宿しています。

支部役員会は、京都と滋賀の交通の便が良い場所で行っています。

最初は、「役員なんてとんでもない」と思っていました。しかし大学の様子を知ったり子どもが躓いたときに相談できることを考え役員を申し出ました。役員会では難しい話をするのではなく支部行事等について話し合いをします。もちろん都合のつかない日は欠席で大丈夫です。

役員会を重ねるにつれて、明るく気さくな皆さんと会うのが生活の中で大きな楽しみになりました。また、京都・滋賀支部のOBの方々がとても優しいです。「OB」と聞くとどんな方々かなあと心配しましたが、少しも押しつけがましくなくて、そっと見守り楽しませ協力してくださいます。これも特徴の1つです。

そして、行事に参加するうちに本学 牧野丹奈子学長のお話をうかがう機会を得ました。

学長は細く小さなお体で、力強く前向きで分かりやすい言葉で話され、学生ひとり一人それぞれの成長と未来を想う祈りを感じました。世の中には本学の牧野学長のような方もいらっしゃるということが嬉しかったです。

また、昨年今年と大学祭に参加しました。キャンパスツアーでは職員の方からエピソードも交え説明を受けま

した。その後、ボランティア発表会で国内外で活動を成し遂げた学生たちの生き生きした発表を聞きました。昨年はインドネシアのバリ島から学生をお世話してくださっている、イ・ヌガ・スィクラマさんが来校され、温かく溢れるような笑顔が印象的でした。桃山祭では大阪南支部、大阪北支部合同で休憩所を設けられ、お茶やお菓子が無料で提供されます。今年は600人程度利用されたそうです。

役員をさせていただきお伝えしたいことは沢山あります。「留学生振袖の会」で着物を身につけさせてもらった海外留学生のこぼれる笑顔や就職支援講演会での学生の生の声や心情などです。その時は忙しくもありましたが、沢山のことを教えていただき充実した日々でした。

少しでも興味を持たれた方は、お気軽に教育後援会室までご連絡ください。お待ちしております。



大阪北支部

支部長 高木 貞子



就職講演会

2019年10月19日(土) 高木 貞子

大阪北支部主催の就職講演会を、本学梅田サテライトにて開催いたしました。就活ルールが2021年以降撤廃され、就職活動時期も早くなり長期化も予想される中、少しでも早く情報を得て学生の就職活動が円滑に行なえるようにとの思いから、これまでの年明け開催を早めて10月の開催といたしました。

第1部はキャリアセンター山口洋司課長補佐より「就職活動について」ご講演いただきました。就活ルール撤廃で今後の就活について、キャリアセンターによる就活支援、インターンシップ、SPIについてなどプロジェクターを使って解りやすく説明くださいました。

次に、国際教養学部英語・国際文化学科4年生 伊藤有加さん、社会学部社会福祉学科4年生 高松輝一さんより「就職活動の体験談」をお聞きしました。就職活動をどの様に挑んだか、不安におもったこと、両親にしてもらって嬉しかったこと、キャリアセンターの活用など感じたことなどをお話くださいました。

第2部の質疑応答では、保護者、学生の不安や疑問に思っていることや相談などたくさん質問されました。学生にとって、就職活動を経験された先輩の話聞く良い機会、インターンシップ(期間、内容、参加の必要性等)落ちた

時のメンタル(対処方法)キャリアセンター(活用方、必要性等)面接などで色々な質問をできる良い機会となりました。

キャリアセンターは、今年から全局面談の実施、個別に履歴書やエントリーシートの作成、面接後の反省、改善策など一人ひとりに応じアドバイスされていること等々キャリアセンターの就活支援がよくわかりました。

「他人の意見だけで判断せず、まずキャリアセンターに行って体験し自分の目で判断してください」と講師、就職内定を得た学生と共に話されていました。参加された保護者、学生から「参考になった」「とても良い情報がえられた」「学生の生の声が聞けてよかった」「知らないことが沢山あり参考になりました」と感想を多数いただきました。今回の講演会に参加された方々が、これからのインターンシップや就職活動に生かしていただけましたら幸いです。

講演会開催するにあたり、たくさんの方にご協力いただき無事に終えることができました。ありがとうございました。



奈良・三重支部

支部長 山本 裕一



ご挨拶

山本 裕一

会員の皆様、教育後援会 奈良・三重支部長の山本です。日頃は支部活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

国内では新型コロナウイルスの感染拡大が連日報道され、当地奈良におきましてもマスクの品薄状態が続く、戦々恐々としているところではありますが、デマや誤った情報に振り回されることなく「正しく恐れる」ことの大切さを改めて感じています。罹患された方々の一日も早いご快復と、本誌が発刊される頃には、この騒動が収束していますことを願っております。

さて、奈良・三重支部では、昨年より新しく2名の方を支部役員にお迎えし、活動しています。今年度は、奈良・三重支部でのイベントの開催など、支部行事の充実を図りたいと考えて

おりますので、その節は、皆様のご協力とご出席を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

教育・就職懇談会/支部総会開催

2019年6月15日(土)

橿原観光ホテルにて、教育・就職懇談会/支部総会を開催しました。

大学の取り組み、単位修得・履修について、就職支援に関するお話しのほか、就職面談、成績面談も実施致しました。今年度より就職面談も実施されるということもあり、関心の高い保護者の皆さまが多数出席され、全体懇談会でも就職活動や海外留学に関する質問が出されました。



兵庫支部

支部長 野口 美鈴



就職支援講演会

2019年12月7日(土) 支部長 野口 美鈴

就職支援講演会を本学梅田サテライトにて開催いたしました。

第一部は、本学キャリアセンター青木洋太氏に、「最近の進路状況と就職活動について」をテーマにご講演いただきました。就職活動の流れ、進め方、支援などについて具体的な内容で、とても勉強になりました。

第二部は、社会学部社会福祉学科4年生 高松輝一さんと経営学部経営学科4年生 矢野美帆さんに、「今年度の就職活動を体験して感じたこと」をテーマに講演をいただき、皆さん熱心に聞き入っておられました。売り手市場と言われていますが、なかなか自分の望むところに就職することに対する難しさを感じました。その後の保護者からの質問にも丁寧に答えていただき、参考になりました。



今回参加された方々からは、「就職活動の支援制度について聞いて良かった。」「いつまでに履歴書を仕上げるなど就職活動に至るまでのことが分かりました。」「とのお声をいただきました。

私も「親にしてもらって良かったこと&して欲しくないこと」など学生さんの本音を聞くことができ、子どもにどのように接して行くべきか勉強になりました。

ちょっとプチ紹介!

神戸市東灘区にある弓弦羽神社は、フィギュアスケートの羽生結弦選手と「ゆづる」の音が重なることから、羽生選手のファンの人が多く参拝に来るとい話題の神社です。弓弦羽ノ森を神領地と定め、849年に根本熊野三所大神を祀るとされています。境内の樹齢350年の榎の木は、神戸市天然記念物にも指定されています。



山口支部

支部長 藤山 優子



山口支部を支えてくださった皆様へ

藤山 優子

この「かけはし」に山口支部として掲載されるのは、今回で最後となります。

私は長男が在籍していた2013年からの4年間、副支部長として山口支部に携わり、前廣實支部長のご尽力の元、支部の存続と発展を念頭に、細々ながらも活動してまいりました。

我が子が初めて親元を離れ、大学へ通う不安や心配事を親同士が共有し、アドバイスや意見交換しながら、集まる度に親同士の親睦も深まり楽しく活動できたことは、子供の卒業とともに支部活動を終えられた歴代の役員の方々のおかげです。

そして、長男卒業の一年後に次男が入学し、私も支部に戻ってまいりました。入学が決まってすぐに支部の皆さんへ連絡をし、「おかえりなさい」と迎えていただいたときは、とても嬉しかったです。

そんな家族のような小さな支部でしたが、近年の学生数の減少等から新年度より広島支部の皆様と共に活動することとなりました。現在の山口支部役員の皆様、これまで山口支部を



支えてくださった皆様、教育後援会の皆様、本当にありがとうございます。また新しい出会い、新しい発見、交流の輪が広がることを楽しみに、役員一同、細く長く無理のない活動で、次の世代にバトンタッチできるよう頑張りたいと思います。

卒業を迎えて

村尾 良子

4年前、保護者として入学式にも参加できず、遠く離れた娘を心配するばかりでした。

しかし、支部役員の方からいろいろなことを教えていただき、安心して娘を見守ることができました。3年生には支部長をさせていただき、無事に務めることができました。支部役員の皆様や教育後援会の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

春には娘も卒業し、就職します。私も後援会活動を卒業しますと同時に、山口支部は広島支部と合併することとなります。少し寂しい気持ちもしますが、山口・広島支部活動が今後ますます盛り上がりますように願っております。

ちょっとプチ紹介!

山口県は歴史が深く、見所満載な所です。おすすめスポットは、長門市にある東後畑棚田(ひがしうしろばたなだ)です。真っ青な海と田んぼ、イカ釣り漁船の灯火が幻想的!棚田は百選にも選ばれた絶景!一度おいでませ。

和歌山支部

支部長 小南 文孝



第10回就職支援講演会「ももやま・わかやまのつどい」

～家族と考える将来の仕事選び～

2020年2月16日(日) 小南 文孝

JR和歌山駅前の新橋ビルにて40名を超える保護者の方々および学生が参加されました。

今年の講演会は、「家族と考える将来の仕事選び」をテーマにジョブカフェわかやまの高髯武嗣氏、本学キャリアセンター小司順敏氏、昨年国際教養学部英語・国際文化学科を卒業され現在は紀陽銀行に勤務の出水千晶さん、就活を終えたばかりの経営学部経営学科4年生 西出幹人さんに最近の就活状況や就活する上での家族のサポートや家族との話し合いの大切さについて、お話をいただきました。講演後には、グループディスカッションをおこない、学生グループと保護者グループにわかれて、講師の方に参加者の方々から不安に思っ



ていることなどを直接質問していただきました。

学生にとっては、先輩に就活までの学生生活の過ごし方やインターンシップのことなどの話を聞くよい機会となり、保護者にとっては、大学の就活への取り組みや、地元和歌山での就活事情などの情報を得るよい機会となりました。参加された方からは、「就活の流れがわかり、少し不安がなくなった。」「いろんな人の話を聞く機会が持ててよかった。」「今後も継続してこのような企画をしてほしい。」「という感想をいただきました。

今後も、このような企画を通じて学生と保護者と大学と地元和歌山をつなげる、かけはしとなる活動を続けていきたいと思ひます。

ちょっとプチ紹介!

早咲きの桜として有名な紀三井寺(和歌山市)は、231段の急な石段をのぼった見晴らしのよい場所にあります。ここからは、万葉集にも詠まれた美しい和歌浦湾が一望できます。是非、お立ち寄りください。



九州支部

支部長 井島 奈津代



教育・就職サポート講演会

河野 あけみ

木々の葉が色づく11月、ホテルレオパレス博多にて、教育・就職サポート講演会を開催しました。

最初に、教育後援会本部役員の廣口由夏氏と嶋田剛大学統括部長よりご挨拶をいただいた後、「職員からみた桃山学院大学」と題し、教育後援会室の朝倉康仁氏と経営企画課広報室の堀井由貴恵氏よりお話をいただきました。今回のメインの内容は、大学で好評だった同テーマを依頼していました。

本学には、学生支援課をはじめ、教務課、国際センター、キャリアセンターなど複数の窓口があります。職員として担当された部署内容の紹介や学生との関わり等について報告されました。留学時や広報誌発行の際のエピソードを聞くことで、学生たちが日々目標を持って過ごしていることやサークルの立ち上げ時に自分たちで問題解決していく話などから、生き生きとした成長過程の学生の姿を感じることができました。また、留学の流れなども把握することができました。

その後は、本学キャリアセンター小司順敏氏より就職活動に関して、就活の現況や流れを説明いただきました。最後に、座談会形式で保護者の自己紹介と普段気になっている

大学生活のことや就活のこと等を質問し、大学側から返答いただきました。今回初めての試みでしたが、職員の方々はとても丁寧に対応くださいました。

本学では、卒業までに身につける能力として、①クリエイティブ力②コミュニケーション力③実践力の3つの力が重視されています。これらの力を身につけるために数多くのプログラムを用意されていますが、本講演会では、学生の育成は、教員の先生方だけでなく、職員の方々がいかに学生に接して、日々の生活をサポートして下さっているということが随所に感じられました。留学、部活、進路、就活等々それぞれの内容もよく理解できました。保護者の皆様方には、是非とも子どもたちに窓口へ出向くことを促していただきたいと思ひます。

お忙しい中、九州まで足をお運びいただいた職員の方々に、また、講演会にご参加いただいた保護者の皆様に、心から感謝申し上げます。



広島支部

支部長 高宮 裕

教育・就職懇談会/支部総会

2019年6月23日(日) 高宮 裕

広島支部は現在、46名の在籍者がおられます。顧問1名と3名の役員で支部活動を行っています。内訳は、4年生9名、3年生7名、2年生9名、1年生20名です。地域別では広島県西部30名、広島県東部15名です。2018年5月には広島と福山の2つの会場で、新入生保護者との懇談会を開催しました。2018年秋には、留学・就職をテーマにして教育講演会を計画しましたが、出席いただける保護者の方がほとんどおられず、開催を断念致しました。

現在は役員3名ですが、2名は2020年3月に卒業予定です、2020年4月より4年生でお一人だけになり、支部活動



ができなくなる可能性があります。こういった環境のもと、2019年6月23日(日)に、教育・就職懇談会/支部総会が、広島市内のザ・ロイヤルパークホテル広島リバーサイドにて開催され、役員3名と保護者5名、合計8名の出席がありました。出席いただいた方々、お忙しい中をありがとうございました。

2020年4月に広島支部の多くの会員が増えることを祈念しまして、2020年5月には2年生・新入生保護者を対象とした懇親会を計画していますので、3年生・4年生の保護者の失敗談などを聞いていただき、参考にしていただけるようお役に立つ支部活動をしていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力の程、宜しくお願ひ致します。



岡山支部

支部長 村田 秀石

保護者交流会

2019年11月24日(日) 村田 秀石

岡山支部は会員59人、役員8人で活動しています。2019年度は、サン・ピーチOKAYAMAを会場に、支部行事「生き生きとした体づくりのために」を企画し、10人が参加しました。ヨガインストラクターの西崎敬子さんを講師に招き、体をほぐす「やまおく体操」などを指導していただきました。「肩がこる」「腰が痛い」など参加者のリクエストにこたえながら、体をほぐすための様々な運動を紹介していただき、運動不足の参加者は、体が軽くなったことを実感することができました。

懇親会では、子どもの学生生活、留学や就職活動の様子について交流を深めました。教育後援会本部 羽山春美氏が参加し、教育後援会の活動について紹介していただきました。

まじめな講演会や学習会も結構ですが、



大学から遠く離れた岡山では会員が点在しており、知り合う機会もあまりありません。このような支部行事を通じて、交流と親睦を深めることも大切ではないかと思います。

ちょっとブチ紹介!

岡山と言えば桃太郎。桃太郎伝説に彩られた遺跡が点在しています。特に、鬼の城のモデルになった7世紀の古代山城「鬼ノ城(きのじょう)」は有名です。ぜひ岡山へお越しください。



山陰支部

支部長 黒田 正己

就職支援講演会

2019年10月27日(日) 黒田 正己

山陰支部の就職支援講演会は、2019年度で5回目の節目を迎えました。そこで本年度は新たな試みとして、一般社団法人桃山学院大学同窓会鳥取支部長を招き、鳥取支部の人的ネットワークとOBの山陰での活躍ぶりを、高木支部長(81S)より紹介していただきました。また、OBで地元新聞「新日本海新聞社」松江支社長の呉藤氏(94B)に就職支援講演会を取材、報道していただきました。

山陰支部は、鳥取と島根の2県で構成されています。東西に300kmという長いエリアの中、鳥取55万人、島根65万人。全国47都道府県人口ランキングで46位と47位です。鳥取島根両県ともに人口問題と少子化問題対策は1丁目1番地の施策です。山陰支部の会員数は約70名、その内何人がUターン就職していただけるのか。このことを一つの目的としてこの度の就職支援講演会を組み立てました。

しかし、当然のことながら保護者は、わが子には大きな組織で安定して、そこそこ給料待遇の良いところに就職してほしいという意識はあっても、あまり地元という意識はないようです。そこで、「ふるさと鳥取県定住機構」と「ふるさと鳥根定住財団」からUターン就職を希望している学生に対する支援内容や素敵な地元ライフのご紹介をいただき、保護者へUターン就職の良さをアピールしていただきました。

本学キャリアセンター奥健太氏からは、2021年卒から経団連の採用選考に関する指針が撤廃されることで、就職活動がより早期化することや、インターンシップの参加は当たり前になり、重要性は高まることなど、具体的な就職現状についてお話をいただきました。また実際に地元金融機関への内定を決めた経済学部経済学科4年生 川端駿平

さんからも「人事の方と直接やりとりできるインターンシップはメリットしかない」とアドバイスを受けてました。

今回の講演会に参加された保護者の方々からは、「大学の就職活動の支援体制について説明を受け、手厚い支援制度に安心した」「行政の充実したUターン就職支援制度を活用して子どもにUターン就職も選択肢の一つとして勧めてゆきたい」「大学OBのネットワークはUターン就職した後のフォローアップとして頼もしい」などの感想をいただきました。細々ではありますが2019年度の活動を次年度に繋げ、域内への情報発信できるよう役員一同頑張っていきます。この度の講演会を開催するにあたり皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。



ちょっとブチ報告!

昨年度の教育・就職懇談会/支部総会で、就職活動体験談を講演いただいた後、地元金融機関に就職し頑張っておられる永田渚さん(15S)が、この度、桃大同窓会鳥取支部の新年会に参加され支部メンバーに加わっていただきました。Uターン就職、桃大OB地元ネットワーク構築、教育後援会と同窓会との連携、ゆっくりと歩んでいます。



四国支部

支部長 田中 久文

教育・就職懇談会/支部総会

教育後援会 本部

6月22日(土)、リーガホテルゼスト高松において、教育・就職懇談会/支部総会が開催され出席させていただきました。

教育・就職懇談会は、25組の保護者の皆様がお出席され、宮本孝二副学長のご挨拶のあと、大学教務から単位修得・履修に関する説明、キャリアセンターより、就職活動の現状やその支援に関する取り組みについてお話をいただきました。

午後からの懇談会では、就職活動をはじめ、学生生活や留学に関することなど出席の皆様から、熱心な質疑がありました。

なお、四国支部は地域が広いために、香川以外の県においても「地域懇談会」と称し、懇談・面談の機会を設けております。今年度は、9月7日、高知市で開催いたしました。

また、今年度から全国支部の本懇談会において、従来からの「成績」に加えて「就職」の個別面談も行うこととなりました。保護者の皆様方には、ご子女の成長を学校を通じて知っていただくよい機会です。ぜひ、今後ともご参加を願っております。



北陸支部

支部長 早田 純子



保護者懇親会

2019年12月1日(日) 早田 純子

親元を離れて暮らす子を持つ親にとっては、我が子が学校生活の中でどのように過ごし、やるべきことをこなしているのかなど心配は尽きません。また大学生活前半はやるべきことも多く、保護者としても把握しておきたいものです。そこで通常では想定しない大学保護者同士の交流の場があれば共有できる情報も多くなると考え、今回の支部行事は1年生、2年生の保護者対象に企画しました。

当日は、キャリアセンター上林靖彦課長より昨今の就職環境と学年別の就活支援についてご説明いただき、特に1年生、2年生の段階からの就活準備について詳しくお話しいただきました。そして、教育後援会室 朝倉康仁氏より成績表の見方をはじめ履修のポイント等を詳しくご説明いただき、また、諸手続等の窓口等においてもお話しいただきました。教育後援会本部 西村浩一氏から後援会の活動等をお話しくださり個別にも対応いただき、あっという間の2時間でした。ご参加の保護者からは「就職に関して時間軸や考え方がわかりやすかった」「最新の情報が参考になった」「親としてサポートできることが分かった」「話しやすい雰



囲気で気軽に質問できた」等々、高い評価をいただき有意義な時間となりました。

今回の企画に対しまして、関係各位の皆様のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、今後も教育後援会の活動が活発になることを願っています。有難うございました。

ちょっとプチ紹介!

福井県には多くの観光地・名物がありますが、【恐竜王国】として有名です。特に福井駅前には恐竜の動くモニュメントや壁画、トリックアートとインスタ映えするスポットになっています。また駅構内には恐竜がベンチに座っているツーショット写真が撮れますよ。福井にお越しの際はぜひどうぞ。



東海支部

支部長 大塚 幸恵



教育・就職懇談会

2019年6月16日(日) 大塚 幸恵

名古屋キャッスルプラザにおいて教育・就職懇談会が開催されました。本学 巖圭介副学長から大学の現状、取り組みについてお話があり、野田俊範教務員からは、単位修得・履修や学校生活や就職活動についてご説明いただきました。

1年生の保護者の方は、大学の様子などが詳しくわかり、保護者同士の交流もできたことが大きな収穫となり、初めて遠くへ出したお子さんへの不安も少しは解消されたようでした。

東海支部の会員は30名で、愛知、静岡、岐阜、長野の4県で構成されています。

東海支部保護者皆様と本年度、教育・就職懇談会、支部総会でお会いできるのを楽しみにしております。



キャンパスツアー

2019年11月16日(土) 大石 佳津江

大学祭2日目の多くの人で賑わう中、キャンパスツアーは行われました。印象的だったのが模擬裁判教室。本物の法廷をモデルにして作られており、その場所が教室であることを忘れてしまいました。施設を積極的に利用して意欲的に学んでほしいと願うばかりでした。

見学後は、模擬店でイタリア風たこ焼きに舌鼓を打ち、学生たちからゼミ活動の様子を聞くことができました。

一人暮らしで頑張っている息子との距離も幾分か縮まり、今後も応援していこうと思う1日となりました。

桃山学院大学教育後援会

保護者の皆様と教育後援会



教育後援会
会長 西田 秀治

保護者の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて桃山学院大学の「教育後援会」の歴史は、2019年度、大学と同じく60周年を迎えることができました。我々役員も諸先輩方から、その運営を引き継いできましたが、時代とともにその役割も変化してきました。

大学創立時の教育後援会は、勉学や設備の充実等、学生に対する学習環境への支援を主な目的として発足しましたが、現在は、学生が社会人としての必要な力を身につけるため課外活動、キャリア育成等を中心とした支援を行っています。

ただ、教育後援会は、それだけではなくご父母の心配

を推し計って、一人ひとりの学生を大切にしなければいけないということが、後援会活動を通じて改めて感じているところです。

保護者の皆様に対しましては、教育・就職懇談会/支部総会、本部・支部の各種行事に参加いただけるような企画、広報誌およびウェブサイト等があります。

しかし、どのような状況で学生がどう学習しているか、心配事はないか?など、大学が父母の皆様に必要な情報を提供し、また父母の皆様が大学に率直にお尋ねになれるようなコミュニケーションを容易にできるようにするためには、どのようにすればよいのか。本部/支部において意見交換を行い、常に時代の変化にあわせて検討を重ねています。

「大学と家庭の架け橋」という重要な役割を更に充実させていくために今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

桃山学院大学教育後援会とは
保護者の皆様の会です

私達と一緒に活動しませんか?

教育後援会は、保護者・保証人と大学とのかけはしとなり、お子様の学生生活をサポートするため、様々な活動を行っています。只今、一緒に活動していただける方を募集しております。教育・就職懇談会にて各支部の役員まで、ご連絡ください。日程については、5ページを参照してください。

教育後援会のホームページにアクセスいただけるようQRコードを掲載しました。保護者・保証人の皆さまに役立つ情報を多数掲載しています。ぜひご利用ください。



教育後援会の主な支援内容

- 1 クラブ・サークル活動、ボランティア活動、課外活動等への支援
- 2 国際交流への支援 (国際ワークキャンプ、海外研修等)
- 3 教育・就職懇談会開催への支援 (全国14支部)
- 4 支部企画による講演会等への支援
- 5 教育後援会経済援助奨学金
- 6 広報誌「かけはし」「ももやま」の発行